

## 1 熊本県環境センター常設展示リニューアルについて

### 1 経緯

熊本県環境センターは、平成元年（1989年）7月「水俣湾埋立地及び周辺地域開発整備具体化構想」の中に初めて位置づけられ、水俣病資料館に続いて平成5年（1993年）8月20日に開館しました。開館以来、水俣病の経験を教訓として、環境問題について学び、考えていただくことを目的に、熊本県内外・国外の方々に向けて環境に関する情報発信と環境教育の拠点として活動し、平成31年（2019年）3月末までに延べ837,726人の方々にご来館いただきました。



熊本県環境センターの上空写真

熊本県環境センターでは、「学ぶ・感じる・体験する」をキーワードに、館内における水環境問題・循環型社会・地球温暖化を中心とした環境講話、廃材を利用した制作体験活動、環境問題に関する常設展示や図書館の管理・運営を行っています。また、熊本県内の団体に対して、各種出前講座を行っており、学校や公民館等で環境講話や制作体験をすることができます。

館内の常設展示については、平成18年度（2006年度）に一度リニューアルを行いましたが、内容の陳腐化と機器の老朽化が著しかったことから、平成29年度（2017年度）から常設展示のリニューアルを中心とした環境教育の拠点機能強化事業に取り組みました。

### 2 リニューアルの方針

機器の老朽化が著しい常設展示「エコ・ステージ」をはじめ、展示内容を刷新し、近年問題となっている地球温暖化等の新たな情報を提供することを本事業の目的としました。

平成28年（2016年）11月に発効したパリ協定（温室効果ガス排出削減等のための国際的な枠組み）を踏まえ、今や人類共通の喫緊の課題である「地球温暖化問題」に関する内容を充実させました。また、県内の全公立小学校を対象とした「水俣に学ぶ肥後っ子教室」事業で環境センターに来館する小学5年生向けの展示がほとんどでしたが、中学生から一般の方を対象とした展示も設け、より幅広い年齢層を対象にした展示としました。

### 3 リニューアルの内容

2Fメイン展示「エコ・ステージ～地球の未来」では、次の特色ある展示を導入しました。地球の将来シミュレーションを見ることができる横幅11mのスクリーンを備



地球温暖化による  
気候変動シミュレーション

えた「地球温暖化による気候変動シミュレーション」コーナーや、地球温暖化に伴って発生すると予想されているスーパー台風による熊本への影響が周囲210°のスクリーン映像で疑似体験できる「地球温暖化体験」コーナーを整備しました。

また、1Fロビーには「やってみよう！おうちでできること」と題して、水環境保全と循環型社会に関する内容を中心とした展示を整備し、日常生活と環境問題の結びつきを理解していただけるようにしました。また、前回の展示で人気のあった、熊本の生きた水生生物の展示「ミニ水族館」や、環境にやさしい買い物を疑似体験できる「買い物ゲーム」についても、引き続き楽しみながら学習ができるよう、新たな機能を追加して再整備しました。



地球温暖化体験

#### 4 今後の展望

環境センターは開館から25年が経過し、来館者数は間もなく90万人に迫ろうとしています。今後も、ごみ問題や水環境問題など地域の問題から地球全体に至る様々な規模で起きている環境問題、自然との共生や調和のあり方などについて、持続可能な開発のための教育（ESD）の理念を大切にしながら、環境学習・情報発信の拠点として活動していきます。



環境センター展望室より、八代海を望む